



肥料等を生産・販売する皆さまへ



- 1 有機JAS適合資材リストへの肥料等の掲載について積極的にご検討下さい。
- 2 リストに掲載していない肥料等については、有機JASの農家が手順書に従い適合性を判断できるよう、肥料等の原材料・製造工程等を示す書類の提供をお願いします。

1 有機JAS適合資材リストへ肥料等の掲載について

○ 有機JAS適合資材リスト※¹に掲載された肥料等は、全ての有機JASの農家が、無条件で使用することができます。

※¹ 有機JAS適合資材リスト：一定の要件を満たす資材評価機関が資材の評価を行い、有機JASに適合するものとして公表したリスト。

https://www.maff.go.jp/j/jas/jas_kikaku/yuuki_shizai_risuto.html

- 有機JAS適合資材リストに肥料等を掲載すれば、
- ✓ 肥料の原材料・製造工程等を示す書類は、資材評価機関1機関のみに提出すればよく、個々の農家との書類のやりとりは不要になります。
 - ✓ 当該資材を使用を検討する有機JASの農家の負担が大幅に軽減されます。

○ 有機JAS適合資材リストに資材を登録するには、資材評価機関に、肥料等の原材料・製造工程等を示す書類（次項参照）を添付して申請※²の上、評価を受けることが必要です。

※² 有機JAS適合資材リストへの肥料等の掲載の申請については、下記資材評価機関にお問い合わせください。（一般的に、有機JAS適合資材リストへの肥料等の掲載は有料です。）

一般社団法人有機JAS資材評価協議会：<https://www.yuhyokyo.com/>

特定非営利活動法人日本有機農業生産団体中央会：<http://www.yu-ki.or.jp/index.htm>

2-1 肥料等の原材料・製造工程等を示す書類の提供について（基本）

○ 有機JASの農家は、肥料や土壌改良資材が有機農産物のJASに適合するかどうか、肥料メーカー等から入手した根拠書類により、手順書^{※3}に従って確認します。

※3 有機農産物のJAS資材評価手順書

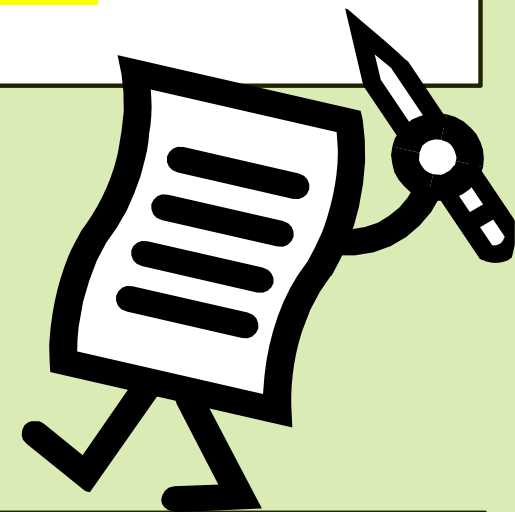
https://www.maff.go.jp/j/jas/jas_kikaku/attach/pdf/yuuki_shizai-1.pdf

○ 有機JASの農家等から根拠書類を求められた場合は、次のようなものを提供してください。

- ✓ 肥料等の原材料・製造工程^{※4}が記載されている。
- ✓ 肥料等に使用された化学的に合成された物質、化学的処理、組換えDNA技術の使用^{※5}等について、有機JASの農家が手順書を見て判断できる。

※4 肥料等の製品そのものだけでなく、製品の原料として使用した肥料等についても、その原材料、製造工程を示す書類が必要です。

※5 これら化学的に合成された物質、化学的処理、組換えDNA技術は、肥料等の原材料に使用されたもの、最終製品に残らないものも含まれます。



○ 肥料等に使用した原材料や製造工程^{※6}が根拠書類に全て正しく記載されていることをご確認ください。

※6 同じ銘柄の肥料であっても、原材料や製造工程を変更する場合は、その都度、変更した原材料等に応じた書類を提供してください。

2-2 肥料等の原材料・製造工程等を示す書類の提供について（手順）

1 【手順書】 手順書には、骨粉や糖蜜といった、肥料等を構成する物質（構成物質）が特出しされ、これらの評価に当たり確認すべき化学的に合成された物質及び化学的処理（化学的に合成された物質等）が明記されています。（確認すべき化学的に合成された物質等が使用されたものは、有機JASに適合しません。）

➡ 【根拠書類の作成】 まず最初に、手順書別添を確認し、構成物質が特出しされているかどうか確認して下さい。

2 構成物質が手順書において特出しされている場合

【手順書】 有機JASの農家は、原則として、構成物質ごとに手順書別添に明記された化学的に合成された物質等の有無のみ確認すればよく、それ以外の化学的に合成された物質等を確認する必要はありません。

➡ 【根拠書類の作成】 手順書別添に明記された、各構成物質に対応した化学的に合成された物質等の有無が明確になるよう、根拠書類を作成して下さい。

構成物質が手順書において特出しされていない場合

【手順書】 有機JASの農家は、根拠書類の記載を頼りに、手順書4（3）イと手順書別添の「確認時の注意点」に従い、全ての化学的に合成された物質等の有無を確認することが必要です。

➡ 【根拠書類の作成】 農家が手順書の4（3）イと別添の「確認時の注意点」に従って全ての化学的に合成された物質等の有無が判断できるよう、原材料と製造工程を具体的に記載して下さい。

3 【手順書】 全ての肥料等は、有機JASの農家は、手順書4（4）に従い、組換えDNA技術の使用の有無を確認することが必要です。（植物及びその残さ由来の資材等の例外を除き、原材料に組換えDNA技術を使用した肥料等は有機JASに適合しません。）

➡ 【根拠書類の作成】 手順書の4（4）を確認の上、原材料（例外を除く）における組換えDNA技術の使用の有無が明確になるよう、根拠書類を作成して下さい。

